



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5612 URL https://www.nichu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石毛 俊朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷部 圭一 (TEL) 03-3546-7675
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第3四半期 | 13,109 | 0.8 | 234 | △64.1 | 245 | △63.8 | △121 | — |
| 2024年3月期第3四半期 | 13,003 | △2.6 | 654 | 70.3 | 679 | 58.9 | 345 | 30.9 |

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △133百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 366百万円(32.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2025年3月期第3四半期 | 円 銭 △37.91 | 円 銭 — |
| 2024年3月期第3四半期 | 107.44 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------------|--------------|-----------|-----------------|
| 2025年3月期第3四半期 | 百万円 20,797 | 百万円 9,493 | % 43.9 | 円 銭 2,844.15 |
| 2024年3月期 | 20,457 | 9,771 | 46.1 | 2,935.52 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,138百万円 2024年3月期 9,431百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|-------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 0.00 | 円 銭 — | 円 銭 44.00 | 円 銭 44.00 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2025年3月期(予想) | | | | 25.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 17,000 | 0.8 | 490 | △43.1 | 500 | △44.2 | 0 | — | 0.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績予想の修正につきましては、本日(2025年1月31日)公表いたしました「繰延税金資産の取り崩し、業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2025年3月期3Q | 3,293,074株 | 2024年3月期 | 3,293,074株 |
| 2025年3月期3Q | 80,064株 | 2024年3月期 | 80,014株 |
| 2025年3月期3Q | 3,213,020株 | 2024年3月期3Q | 3,213,071株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、能登半島地震での被害を踏まえた政府主導での上下水道の耐震化計画が策定されているものの、材料費及び人件費の高騰の影響を受け水道事業体の管路全体の布設延長工事は前年度を下回る水準で推移しております。また、人手不足等による管路布設工事の遅れも一部にみられ、ダクタイル鉄管の需要量は減少傾向が続いております。加えて、エネルギー価格や物流費等の諸物価高騰によるコストアップも当社の収益を大きく圧迫する要因となっています。販売価格への転嫁やコスト削減の積上げなどの企業努力により収益の確保に努めておりますが、当期につきましては、前年同期比増収減益となりました。

当社はカーボンニュートラルへの取り組みとして2022年6月に電気炉建設チームを設置し、国の目指す排出CO₂の削減目標の実現に向けて検討を進め、電気炉を導入し、キュポラ炉からの転換を図ることを2023年8月7日に決定し、公表いたしました。

当社の主力製品であるダクタイル鉄管は、老朽化に伴う更新需要はあるものの、現在のところ大幅な需要の拡大は見込みにくい環境下にあります。そこで、当社と株式会社クボタ（以下クボタ）は、今後も社会インフラを支える企業として供給責任を果たしていくため、生産設備を再編し、クボタの京葉工場で生産している小口径（呼び径75mm～250mm）のダクタイル鉄管（直管）の完成品及び半完成品をOEM供給する製造合弁会社（当社の子会社として、久喜工場のダクタイル鉄管（直管）の製造部門を分社）の設立に向けて協議を進めております。

また、当社は、パーパスである「水が途切れない世界を実現する」ための取り組み、すなわち、製造・販売にとどまらず、管路診断、設計から工事施工に至る管路サイクルすべての分野での活動への展開を図っております。具体的には、さや管推進工法での工事負荷を軽減する部品「オセール」の拡販、プリセット接合工具「楽ちゃく」の新サイズへの拡大開発、スマートフォンやタブレットでマンホール蓋のデータ収集・集計、自動編集できるDXソフト「だいさくくん」の販売促進、Fracta社とのパートナーシップによるFracta-AI管路診断技術の普及促進などを行い、将来に向けた活動を引き続き推進しております。

当社はESG経営を進め、継続的に発展していく企業を目指し、環境変化に柔軟かつ迅速に対応できる企業体質の強化を引き続き推し進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、諸物価高騰に伴う販売価格の改定による改善を目指したものの、前年同期比では1億6百万円（前年同期比0.8%）増加の、131億9百万円となりました。

収益につきましては、諸物価が高位に推移していることや在庫評価差等の影響などにより、営業利益は4億19百万円（前年同期比△64.1%）減少の2億34百万円、経常利益は4億33百万円（前年同期比△63.8%）減少の2億45百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、特別損益に電気炉建設のための既設撤去費用等を計上したこと及び繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額に計上したことなどにより、4億67百万円減少し1億21百万円の損失となりました。

引き続き、皆様のご期待に添えるような企業運営に努め、安定利益の確保に向けて、一層努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億40百万円増加し、207億97百万円となりました。これは主に「商品及び製品」が5億53百万円減少する一方で、「電子記録債権」が8億66百万円増加したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ、6億19百万円増加し、113億4百万円となりました。これは主に流動負債の「短期借入金」が10億円増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ2億78百万円減少し、94億93百万円となりました。これは主に配当金の支払いによる減少1億41百万円と「親会社株主に帰属する四半期純損失」1億21百万円の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月29日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました、2025年3月期の通期連結業績予想数値を下方修正することといたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2025年1月31日)公表の「繰延税金資産の取り崩し、業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,419 | 2,772 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,168 | 3,275 |
| 電子記録債権 | 2,988 | 3,855 |
| 商品及び製品 | 3,168 | 2,615 |
| 仕掛品 | 575 | 657 |
| 原材料及び貯蔵品 | 665 | 674 |
| その他 | 130 | 101 |
| 貸倒引当金 | △59 | △69 |
| 流動資産合計 | 14,058 | 13,883 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 3,237 | 3,237 |
| その他（純額） | 2,181 | 2,569 |
| 有形固定資産合計 | 5,418 | 5,807 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 673 | 680 |
| 固定資産合計 | 6,399 | 6,914 |
| 資産合計 | 20,457 | 20,797 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,098 | 922 |
| 電子記録債務 | 2,591 | 2,650 |
| 短期借入金 | 2,550 | 3,550 |
| 未払法人税等 | 138 | 31 |
| 賞与引当金 | 189 | 67 |
| その他 | 968 | 847 |
| 流動負債合計 | 7,537 | 8,069 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,000 | 2,000 |
| 役員退職慰労引当金 | 36 | 47 |
| 退職給付に係る負債 | 271 | 232 |
| 負ののれん | 15 | 10 |
| その他 | 825 | 943 |
| 固定負債合計 | 3,148 | 3,235 |
| 負債合計 | 10,685 | 11,304 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,855 | 1,855 |
| 資本剰余金 | 264 | 264 |
| 利益剰余金 | 6,731 | 6,468 |
| 自己株式 | △105 | △106 |
| 株主資本合計 | 8,746 | 8,483 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18 | 30 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 667 | 624 |
| その他の包括利益累計額合計 | 685 | 655 |
| 非支配株主持分 | 339 | 354 |
| 純資産合計 | 9,771 | 9,493 |
| 負債純資産合計 | 20,457 | 20,797 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 13,003 | 13,109 |
| 売上原価 | 10,381 | 10,963 |
| 売上総利益 | 2,621 | 2,146 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,967 | 1,911 |
| 営業利益 | 654 | 234 |
| 営業外収益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 | 0 |
| 設備賃貸料 | 4 | 4 |
| 受取賃貸料 | 6 | 5 |
| 作業くず売却益 | 12 | 11 |
| その他 | 26 | 21 |
| 営業外収益合計 | 49 | 43 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13 | 28 |
| 支払手数料 | 0 | 0 |
| 設備賃貸費用 | 2 | 3 |
| その他 | 8 | 0 |
| 営業外費用合計 | 24 | 32 |
| 経常利益 | 679 | 245 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 3 |
| 特別利益合計 | 0 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 133 | 102 |
| 特別損失合計 | 133 | 102 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 547 | 147 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 157 | 123 |
| 法人税等調整額 | 29 | 127 |
| 法人税等合計 | 186 | 250 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 360 | △102 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 345 | △121 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 15 | 18 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8 | 12 |
| 退職給付に係る調整額 | △2 | △42 |
| その他の包括利益合計 | 5 | △30 |
| 四半期包括利益 | 366 | △133 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 350 | △152 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 15 | 18 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------------|--------------|--------|--------|--------------|--|
| | ダクト キャスト 関連 | 樹脂管・ ガス関連 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 11,446 | 1,556 | 13,003 | 13,003 | — | 13,003 |
| 外部顧客への売上高 | 11,446 | 1,556 | 13,003 | 13,003 | — | 13,003 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 57 | 57 | 57 | △57 | — |
| 計 | 11,446 | 1,614 | 13,060 | 13,060 | △57 | 13,003 |
| セグメント利益 | 416 | 240 | 656 | 656 | △2 | 654 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 △2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------------|--------------|--------|--------|--------------|--|
| | ダクト キャスト 関連 | 樹脂管・ ガス関連 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 11,426 | 1,683 | 13,109 | 13,109 | — | 13,109 |
| 外部顧客への売上高 | 11,426 | 1,683 | 13,109 | 13,109 | — | 13,109 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 39 | 39 | 39 | △39 | — |
| 計 | 11,426 | 1,722 | 13,149 | 13,149 | △39 | 13,109 |
| セグメント利益 | 62 | 165 | 227 | 227 | 6 | 234 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) |
|----------|--|--|
| 減価償却費 | 329 百万円 | 356 百万円 |
| 負ののれん償却額 | 4 " | 4 " |